



毎年、宮広美組合さんのご協力のもとインターンシップを実施しています



技能検定シート仕上げ1級および2級課題の練習を通してシート切り文字や突合せ貼りを学びます

### ▶サインデザイン科学生ルール

#### 1.クラスメイトを認め合う

さまざまな出身高校、年齢の方がクラスメイトになります。苦手な人、仲良くなる人いろいろいますが、相手を拒否したり無視をしたりせずクラスメイトとして認めるように学生に伝えます。

#### 2.ゴミはゴミ箱に捨てる

みんながそれぞれ出したゴミをゴミ箱に入れば教室が汚れません。机上は常にきれいにするのを心がけます。

#### 3.朝は「おはよう」帰りは「おつかれさまでした」をいう

朝は「おはよう」といって実習場に入り、帰りは「おつかれさまでした」と言って帰ります。黙っていたら、いるかないか分かりません。

### ▶指導員が心がけていること

#### 1.ほめること

上手くできたときや良い態度のときは、しっかりほめます。自己肯定感を高め、製品の正しい基準を覚えるのに有効だと思います。

#### 2.「ありがとう」をいうこと

学生をよく見ると、気がついて片付けをしてくれたり、学生同士でフォローをしていたりします。「ありがとう」は積極的に言います。

#### 3.一定の機嫌でいること

いつも同じ機嫌でいることを心がけています。指導側の一方的な良くない機嫌は、クラスの雰囲気や学生の課題の出来に影響すると思っています。



出力、ラミネート、カットの連の作業を学びます



年1〜2回、県の施設内での校外実習を実施しています

### ▶なぜ、『サインデザイン科』に訓練科名を変更したのか

訓練科名は、昭和49年の広告美術科新設時から平成17年度までの42年間『広告美術科』を、平成18年度から令和2年度まで15年間『広告看板科』の名称を使用していました。平成20年あたりから入学希望者が減りはじめ平成25年には入学希望者が定員の50%になり、こんなに魅力的な職業であるのに、なぜ若者は振り向いてくれないのだろうとっていました。若い人たちが興味を引く言葉をと考え、思い切って『デザイン』を入れることに決めました。『サイン』は、東北地区連と宮広美組合の皆様よりご意見をいただきました。これまで入学希望者が定員の50%を切っていたのが、令和3年度の募集は、希望者が定員の1.5倍となり、入学生が10名定員を満たすことができました。

入学を希望する若い方たちが自分なりに、『サインデザイン科』について「サインって始めて聞いたけど何だろう?」「サインデザイン科となっているけど、実際に作ったりもできるのか」と調べて受験されていたことも印象的でした。これからもさらにサイン業界が若者に注目されてほしいと思います。



令和元年の宮広美公共パネル作品展では、準市民大賞をいただきました